

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和6年度中間評価）

基本目標3 住み慣れた地域における生活の継続支援

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
もーやっこサポート事業登録者数（累積）	90人	69人	○	B
	目標値には未達である。居住支援を利用した人を中心に利用者数が増えてきている。			
居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数におけるマッチング件数の割合	50%	18%	△	C
	目標値には未達。但し、住宅確保に困難を抱える事例や、緊急を要する事例など相談案件は22件と非常に増えている。（昨年度の同時期のマッチング率は38.8%。相談件数は18件。）			

【数値達成度（対目標値）】

- ◎ 100%以上の達成度合
- 75%以上100%未満の達成度合
- △ 50%以上75%未満の達成度合
- × 50%未満の達成度合

【総合評価（目安）】

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価

C

担当部署評価

各支援機関と連携を取りながら、居住に限らず相談者に寄り添い対応できている。今まで支援してきた方に関しても長期的なサポートを行い、居住支援のみではなく多角的に支援することができている。マッチング件数だけでなく、相談件数やその支援内容にも着目し、適切に事業が行えているかの評価を継続していく。今後、増えていく事例に対し、どのように対処していくかも検討していく必要がある。

評価委員会評価

もーやっこサポート事業について、認知を高めていくことが必要な時期である。居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数におけるマッチング件数の割合について、相談件数が増えているため、昨年度の同時期と比較し、マッチングの割合が低くなっている可能性のひとつとして考えられる。課題である「住宅確保に困難を抱える事例が居住できる住居の不足」について、年間評価時に今後の展開を報告してほしい。